

第9回トライボロジー秋の学校 in 愛知 —集まれ！若きトライボロジスト！— 開催報告

実行委員長 小畑 智彦 (NTN(株))

10月4日(木)、5日(金)にあいち健康の森プラザにて、「第9回トライボロジー秋の学校 in 愛知」を開催しました。

秋の学校はトライボロジーに携わる学生や企業の若手研究者・技術者を中心とした会で、情報交換や若手同士による刺激授受を目的としています。今年は、参加数が初めて100名となり、例年以上に活発で有意義な交流ができたと感じております。

開催プログラムと内容を以下に記します。

開催プログラム：

第1日 10月4日(木)

- 12：20 開校の挨拶
- 12：30～14：00 ポスター発表 第1部
- 14：10～15：10 企業展示説明会
- 15：20～16：50 ポスター発表 第2部
- 18：00～ 夕食および交流会

第2日 10月5日(金)

- 9：00～9：40 基調講演1
「固液界面とトライボロジー」
同志社大学 平山 朋子 氏
- 9：45～10：25 基調講演2
「面白い感触を持つ化粧品を求めて」
株式会社資生堂 関根 知子 氏
- 10：35～10：50 表彰式・写真撮影・解散

参加者情報：

参加者数 100名

(内：学生69名、一般8名、企業展示説明員14名、基調講演者2名、実行委員6名、サポーター1名)

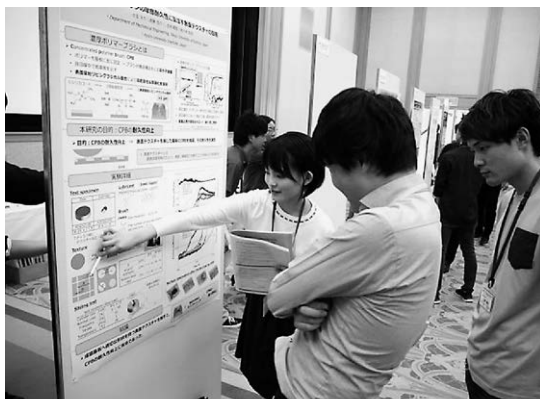
ポスター発表件数：67件

ポスター発表：

ポスター発表は、会場のどこにいても熱気が伝わってきました。特に学生にとっては、発表だけでなく、聴講し議論する、普段経験できない、よい機会となったのではないのでしょうか。また、参加者は時間の許す限りポスターに聞き入り、時間終了後も活発に議論しているほどの盛況ぶりでした。



ポスター発表の様子1



ポスター発表の様子2

ポスター発表67件の中で審査を行い、以下の方々に最優秀ポスター賞と優秀ポスター賞を授与しました。

(以下敬称略、50音順)

最優秀ポスター賞 (2名)

○佐々木悠斗 (同志社大学)

「MoDTC および無灰 FM 剤併用系における各種添加剤形成層のトライボロジー特性の把握」

○中込樹彦 (東京理科大学)

「低粘度エンジン油潤滑下における硬質薄膜の摩擦低減メカニズムの解明」

優秀ポスター賞 (8名)

- 稲垣宏紀 (名古屋工業大学)
「摩擦損失を積極的に利用した振動減衰機構の開発」
- 今泉友佑 (名古屋大学)
「高強度スマートメタルサーフェスを用いた次世代能動的摩擦制御システムの開発」
- 岡本竜也 (名古屋大学)
「カーボン系硬質膜の紫外線照射に伴う誘電率・表面エネルギー変化が油中低摩擦に及ぼす影響」
- 嶽野広明 (名古屋大学)
「低硬質砥粒と硬質砥粒を用いた One プロセスにおける研磨能率向上とダメージ深さ減少」
- 西川航平 (兵庫県立大学)
「防錆剤の金属表面に対する吸着過程機構解析」
- 水野敬太 (名古屋工業大学)
「切削加工点における工具摩擦の切削速度依存性」
- 山下直人 (東京理科大学)
「金属 3D プリントを用いた能動的摩擦制御のための形状可変摩擦面の開発」
- 山田高澄 (名古屋大学)
「変形表面と AI の協調による表面損傷回避技術の開発」

企業技術・製品紹介：

ポスター発表と同じ会場に企業展示のブースを併設し、技術・製品の紹介をしていただきました。出展していただいたのは以下の企業です。

(50 音順)

- 出光興産株式会社
- NOK 株式会社
- NTN 株式会社
- 協同油脂株式会社
- JXTG エネルギー株式会社
- 株式会社ジェイテクト
- シェル ルブリカンツ ジャパン株式会社
- 島貿易株式会社
- 大同メタル工業株式会社
- 日本精工株式会社

学生や若手技術者はカタログや製品を通して、自分たちの研究開発がどのように世の中に貢献しているかをイメージできたのではないかと思います。今後の研究開発の新たな目標であったり、学生には将来の進路選択の一助となることを願っております。



最優秀ポスター賞受賞者の2名



企業展示の様子1



優秀ポスター賞受賞者の皆様



企業展示の様子2

基調講演：

基調講演は例年、大学と企業の異なるフィールドでご活躍されている2名の方に話題提供をお願いしています。本年度は、同志社大学の平山朋子先生と株式会社資生堂の関根知子様にお引き受けいただきました。

前半の基調講演では「固液界面とトライボロジー」というタイトルで平山先生にお話ししていただきました。学生時代の話から、今まさに取り組んでおられる先進的な研究の話まで幅広く話題提供をいただきました。後半は、「面白い感触を持つ化粧品を求めて」というタイトルで関根様にお話ししていただきました。ご自身が開発された製品であったり、企業研究者としての働き方・考え方、また母としてのワークライフバランスについてご講演いただきました。またそれぞれの講演の最後には、お二方から学生や若手技術者に向けたメッセージもいただき、合わせて80分という短い時間ではありましたが、非常に内容の濃いものとなりました。

お忙しいところ貴重な講演をしていただきました平山先生、関根様には心から感謝いたします。

アンケート：

参加者の方全員にアンケートへの回答をお願いしました。結果は、ポスター発表や基調講演に対しそれぞれ約90%の参加者から「やや満足」または「満足」と回答していただ

けた上、知人に紹介したいと回答した方も約80%おり、大変好評であったことが分かりました。

最後に：

秋の学校は多くの方の助けの下で、成り立っております。全体を通して学会事務局 中事務局長、川上様、五十嵐様、教育講習委員会 古林委員長、南部副委員長、また会場の準備には名古屋工業大学を始めとする学生の皆様に、ご協力いただきました。この場を借りて深くお礼申し上げます。

秋の学校は来年度も開催予定です。若手研究者間の交流の場として、トライボロジー分野の発展に貢献できればと考えておりますので、ご参加・ご協力よろしくお願いいたします。

実行委員会：(以下、敬称略)

実行委員長：小畑智彦 (NTN 株式会社)

実行副委員長：鎗光清道 (首都大学東京)

実行委員：岡野知晃 (出光興産株式会社)

小谷田早季 (JXTG エネルギー株式会社)

平田祐樹 (東京工業大学)

堀田智哉 (関東学院大学)

サポーター：柴田 圭 (東北大学)

前川 覚 (名古屋工業大学)



基調講演の様子1



基調講演の様子2



参加者の集合写真